

様式2

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 静岡県立袋井商業高等学校

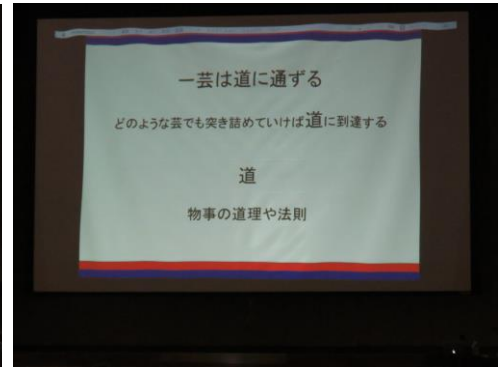
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	全校生徒 525人 全職員 60人 希望保護者 5名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () 行事名 (講演会) ② その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	昨年、全校でラグビーを観戦し、一流を体感した。「一流を知る」「一流に触れる」ことは「人を育てる」商業高校にとっては重要であり、その一環になればいいと考える。また、本校は部活動が盛んであり、それぞれの目標に向けて日頃、お互い切磋琢磨して頑張っている。今回の講演を通してさらなる向上につながるとともに、体育の観点からもスポーツに関心を持ち、生涯においてスポーツに携わることにつながることを期待する。
5 取組内容	1 オリンピック・パラリンピック競技調べ ・1年生を対象に、体育理論の夏休み課題として調べ学習 ・講演会前には、全員分を展示 ↑ 渡り廊下に展示 各自工夫をしていました → 2 講演会

演題 「オリンピックへの道のり」

～32年ぶりに出場したリオ五輪で感じたこと～

講師 棚村 克行 氏 (水球日本代表)



「一芸は道に通ずる」
「6つの習慣」など生徒達に
熱いメッセージを送ってくれました

6 主な成果

【生徒アンケートより】

- ・何かを成した人の話は、意義深くとても勉強になった。「一流に触れる」ことの大切さを感じた。
- ・2020 東京オリンピックに興味を持った。水球を観たいと思っている。
- ・一流の方の人間性の高さを改めて感じた。
- ・今回のお話を他の人たちに伝えたいと思った。
- ・先輩とのラストの大会に向け、少しでも恩返しをしたいと強く思わせていただいたことに感謝したい。
- ・優しく、自論をきっちりと持ち、簡単なことでは周りに流されずに自分の「好き」へ向かって一生懸命努力をする。そのような人になりたいと思った。
- 1 人の人間としての精神力、一流の考え方を教えてもらった。
- ・今好きでやっている部活動を楽しく続けていきたいと思う。
- ・棚村選手のファンになった。

【職員アンケート】

	・今の生徒の現状にタイムリーな講演内容であり、「今」に生かせることができ大変良かった。 ・オリンピックの事を通して、生き方・考え方を伝えていただき、生徒にとっても身近に感じたようである。 【全体を通して】 「2020 東京オリンピックに興味を持った」という生徒の言葉が多かったことはこの講演会の企画として成功だと思う。また、現在部活動で頑張っている生徒にとってはさらに気持ちを高める機会になった。講師の人柄もあり、大変有意義な講演会となった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	・体育理論の授業において事前学習を行ったり、調べ学習を行い展示する等機運を高めた。 ・紹介のスライドショーを作成し、導入を工夫した。 ・現役オリンピックを招聘した。非常に現実味があって良かった。
8 主な課題等	・事前学習の大切さ。 ・現役オリンピックと実際に競技ができる時期に開催したかった。
9 来年度以降の実施予定	・オリンピックに携わる人には「する」「みる」「支える」があるので、その中で考えていきたい。今年は「する」を選択したのでそれ以外で考える。